

番 号 : 131000

国 名 : ブルキナファソ

担当部署 : 人間開発部基礎教育第二課

案件名 : 学校運営委員会支援プロジェクトフェーズ2 詳細計画策定調査 (評価分析)

1 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 評価分析
- (2) 格付 : 3号~4号
- (3) 業務の種類 : 調査団参团

2 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2013年11月中旬から2013年12月中旬まで
- (2) 業務M/M : 国内0. 50M/M、現地0. 77M/M、合計1. 27M/M
- (3) 業務日数 :

準備期間	派遣期間	整理期間	M/M
5	23	5	1. 27

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 10月23日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス(e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出、
または調達部受付(JICA本部1F)への書類の提出

※2013年10月2日以降の公示案件(業務実施契約(単独型)のみ)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を試行導入します。提出方法等詳細については、JICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ)をご覧ください。

4 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針
 - 1) 業務方針の的確性 3
 - 2) 業務方法の整合性、現実性等 6
 - 3) 当該業務実施上のバックアップ体制 1
 - (2) 業務従事者の経験能力等
 - 1) 類似業務^{注1)}の経験 45
 - 2) 対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域^{注2)}での業務経験 9
 - 3) 語学力^{注3)} 18
 - 4) その他 学位、資格等 18
- (計100点)

類似業務	類似業務 : 各種評価調査
対象国 / 類似地域	ブルキナファソ/全途上国
語学の種類	英語

5 条件等

- (1) 参加資格のない社等 : 特になし
- (2) 必要予防接種 :
 - 黄熱 : 入国に際してイエローカード(黄熱病予防接種証明書)が必要です。

6 業務の背景と目的

ブルキナファソ政府による「基礎教育開発 10 ヵ年計画 (PDDEB 2001-2010)」に基づく教育セクター課題への取組の結果、特に基礎教育へのアクセスは大幅に改善された。2012 年からは「基礎教育戦略開発プログラム (PDSEB 2012-2021)」に基づき、基礎教育へのアクセス・質の向上、ノンフォーマル教育の発展と教育システムの分権化などの取り組みがおこなわれているが、急激な就学人口の増加により、学習環境の悪化、学習の質の低下という課題が浮き彫りとなっている。

教育分権化の潮流の中で、地域住民による学校運営委員会 (COGES) が学習環境の改善の担い手となりうるとして、PDSEB では、COGES の設置を推進するとしている。ブルキナファソ政府の要請を受けて JICA が実施した「学校運営委員会支援プロジェクト」(PACOGES 2009 年 11 月-2014 年 3 月) では、機能する COGES モデルの確立、対象地域における COGES の設置促進に貢献した。

国民教育・識字省 (MENA) は、PACOGES で実証された機能する COGES を全国へ設置するため、新たに COGES を担当する部署を MENA 基礎教育総局 (DGEB) 内に設置した。しかしながら、COGES の全国普及にはコストを抑えながらも質を確保する必要があり、綿密な計画の立案と高い実施能力が必要となる。また、学習の質向上に焦点を当てた活動に対するニーズや、COGES 活動のモニタリング・フォローの必要性も確認されており、COGES の改善モデル確立、モニタリング体制作りも課題である。このため、COGES 担当部署の能力強化及び、課題への取組を技術的に支援する事を目的とした「学校運営委員会支援プロジェクトフェーズ 2」が日本政府に要請された。

7 業務の範囲及び内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、「新JICA事業評価ガイドライン 第1版」に沿って担当分野に係る以下の調査を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

[評価分析]

- (1) 国内準備期間(2013年11月中旬)
 - 1) 要請背景・内容を把握する(関連報告書等の資料・情報の収集・分析)。
 - 2) 現地調査で収集すべき情報を検討する。
 - 3) 担当分野に係る調査計画・方針案を検討する。
 - 4) PDM(Project Design Matrix) 案、PO(Plan of Operations)案(仏文・和文)及び事業事前評価表案の担当分野関連部分を作成する。
 - 5) ブルキナファソ関係機関(C/P機関等)、専門家、他ドナー等に対する質問票(案)(仏文)を作成する。
 - 6) 他ドナーが実施する類似プロジェクトや国別セクター分析等に関する資料・情報の収集、分析を行う。
 - 7) 詳細計画策定調査打合せ、対処方針会議等に参加する。
- (2) 現地派遣期間(2013年11月中旬～12月上旬)
 - 1) JICAブルキナファソ事務所等との打合せに参加する。
 - 2) ブルキナファソ関係機関との協議及び現地調査に参加する。
 - 3) 担当分野に係る以下の情報・資料を収集し、現状を把握する。
 - ① ブルキナファソ教育政策及び教育セクター計画における本プロジェクトの位置づけ
 - ② ブルキナファソ学校運営委員会支援戦略及び開発動向
 - ③ ブルキナファソ側の実施体制(組織・予算・他機関との関係性等)
 - ④ フェーズ1の実績
 - ⑤ 当該分野に係る実施機関の過去の事業実績及びその関連資料の収集・整理・分析
 - ⑥ 他ドナー・機関の援助動向
 - ⑦ プロジェクト実施に係る先方負担事項の確認
 - 4) PDM案及びPO案(和文・仏文)の作成に協力する。
 - 5) ブルキナファソ関係者との協議で合意された内容につき、R/D案及びM/M案(仏

- 文)の作成に協力する。
- 6) 評価5項目の観点からプロジェクトを分析し、事業事前評価表案(和文)の作成に協力する。
 - 7) 担当分野に係る現地調査結果をJICAブルキナファソ事務所等に報告する。

(3) 帰国後整理期間(2013年12月中旬)

- 1) 事業事前評価表(案)作成に協力する。
- 2) 帰国報告会、国内打合せに出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- 3) 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書(案)を作成する。

8 成果品等

本契約における成果品は以下のとおり。

- (1) 詳細計画策定調査報告書(案)(担当分野)

和文1部(JICA人間開発部)

なお、上記成果品の体裁は簡易製本とし、電子データもあわせて提出する。

9 見積書作成に係る留意点

本公示にかかる見積書の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)

を参照願います。

留意点は以下のとおり。

- (1) 航空券・旅費(日当・宿泊費)は契約に含めず、JICAより別途支給します。(見積書の旅費欄には0円と記載下さい。)

10 特記事項

- (1) 業務日程/執務環境

- 1) 現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2013年11月16日~12月8日を予定しています。本業務従事者は、JICA職員等の現地調査期間に10日間程度先行して現地調査の開始を予定しています。

- 2) 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ① 団長/学校運営(JICA)
- ② 協力企画(JICA)
- ③ 評価分析(コンサルタント)

- 3) 便宜供与内容

当機構ブルキナファソ事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ① 空港送迎
- ② 宿舍手配
- ③ 車両借上げ
- ④ 現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ

- (2) 参考資料

特になし。

- (3) その他

- ① 業務実施契約(単独型)については、単独(1名)の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます(冒頭留意事項参照)。
- ② 教育分野にかかる調査/業務経験があればなおよい。
- ③ 現地通訳(英/仏)を配置するが、仏語ができれば望ましい。

以上